

物品第20号
消防団用備品購入
仕 様 書

令和 5 年度

おいらせ町

この仕様書は、おいらせ町が購入する消防団用備品について必要な事項を定めたものである。

第1 品名および数量

- 1 防火帽ヘルメット 25個
- 2 防火帽用しころ 25枚
- 3 防火長靴 30足
- 4 石油交付金表示 1式（品名1から3における物品）

第2 仕様

1 防火帽ヘルメット F P - 1 1 9 - B 相当品

	品 名	規 格	用 途
帽 体	本 体	ポリエステル樹脂（FRP）	帽 体
	掛 け 金 具	真鍮ニッケルメッキ	後部引掛金具
顔面保護材	ポリカーボネイト板	ポリカーボネイト	顔面保護版
	ポリカーボネイト縁枠	塩化ビニール	保護版縁用
	支 持 材	硬質ポリエチレン	保護支持材
着 装 体	衝撃吸収ライナー	発泡スチロール	衝撃吸収用
	ハンモック	ポリエチレン	
	環 紐	ナイロン杉綾織テープ	
	ヘッドバンド	ポリエチレンに塩化ビニール縫い付け	サイズ調整
	ヘッドバンド連結部品	ポリエチレン	
	しころ取付板	ポリエチレン	しころ取付け用
顎 紐	顎 紐	黒色ナイロン 巾18m/m	
	締 金 具	黄銅製	顎紐調整用

(1) 構造一般

- ア 防火帽を着装した状態で上方前面、側面、後部から強い衝撃に対し着装者の頭部を保護できる構造であること。
- イ 顔面保護板を下げた状態で視野を妨げず前方から注水に対して顔面を保護できる構造であること。

(2) 構造

ア 帽体

(ア) 表面は滑らかで堅牢であり傷、割れ、ひび、しみ、汚れなどの次点がないこと。

(イ) 帽体の色相は銀色とする。

(ウ) 帽体後部中央に座金を付した掛金具を取り付ける。

イ 顔面保護板

(ア) 顔面保護板はポリカーボネイト板のふちに塩化ビニールをほどこし保護

できるものとする。また、下げた状態で視野を妨げず且つ前面からの注水に対し顔面を保護するものであること。

- (イ) 保護面は帽体から円滑に引き出せ、引き出した状態でぐらつきを防止する措置を施すこと。

ウ 装着体

- (ア) 帽体内面に取り付け外部からの衝撃エネルギーを有効且つ安全に吸収する。

- (イ) ハンモックは上方からの衝撃エネルギーを有効、安全に吸収すること。

- (ウ) ヘッドバンドは帽体と内装との連結部位の高さに帯状に装着し頭の大きさに応じて側頭部で自由に調節できる構造であること。

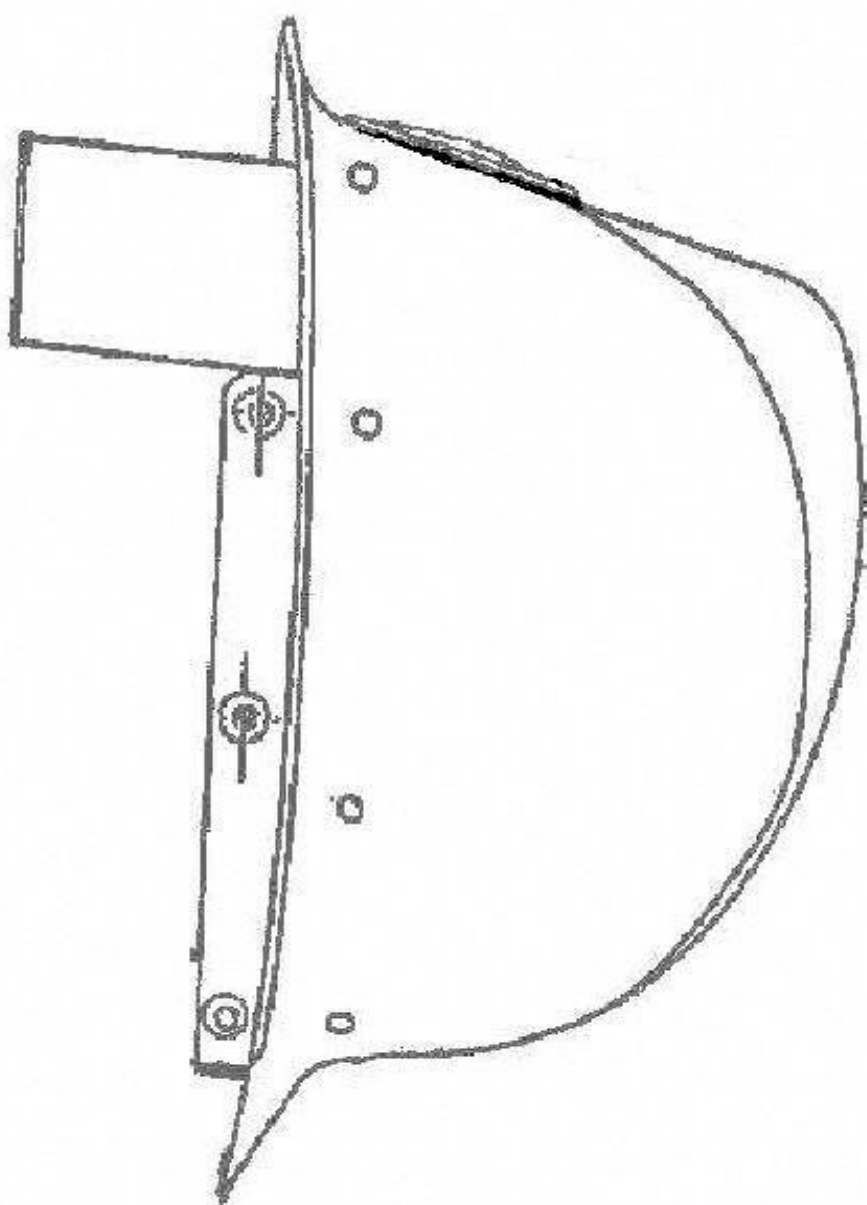
- (エ) 衝撃パットは帽体とハンモックの間に装着し、外部からの衝撃エネルギーを吸収すること。

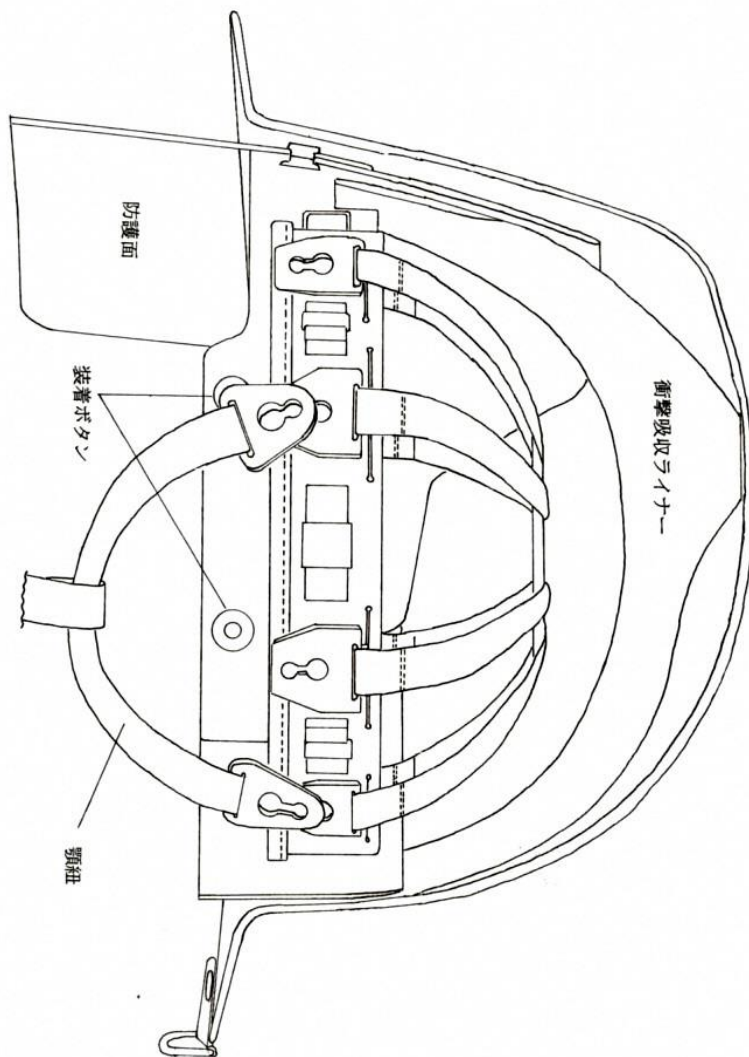
- (オ) しころ取付けプレートは帽体に固定し押しホック（A）を6個取り付けるものとする。

エ 顎紐

- (ア) 顎紐は帽体に装着体と一緒に固定し、使用中帽体がぐらつかないよう確実に締められるものであること。

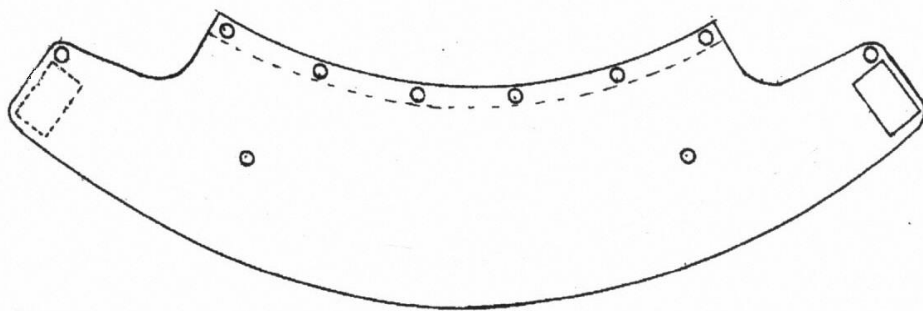
- (イ) 顎紐締め金具部につまみを付け左側のリング止め部分は完全に縫い付けること。





2 シコロ SP型 相当品

- (1) 外観は概ね図の通りとする。
- (2) シコロの生地は防火服外衣と同一のものとし、一枚裁ちとする。
- (3) 裏面上部へりは綿テープにより補強し、防火帽への取り付け用に6個のDOT釦を取り付ける。
- (4) 前合せ部分は顔面を覆えるように面ファスナーで左右を止められること。
また、折り返し留め用にDOT釦をシコロ左右に取り付けること。



3 防火長靴 T0 シルバーカバー付 相当品

(1) 構造及び名称

本品の構造及び名称は別図に示すとおりである。
但し別図による各部の形状は多少の相違を認める。

(2) 大きさ

本品の大きさは J I S S 5 0 3 7（ゴム底布靴及び総ゴム靴の標準呼び寸法）に規定する呼び寸法による。

(3) 使用材料

- ア ゴム ゴムはすべて使用目的に適合する様に調整した組成の均等なものでなければならない。
- イ 布 布はすべて密度の均等な使用目的に適合する組織を持つものでなければならない。
- ウ 踏抜防止板 中低部へ鋼板、またはステンレス板を使用する。
- エ 膝カバー 膝カバーの繊維密度及び打ち込みはすべて均質でビニロンまたはポリエステル繊維等の基布の片面にアルミニウム粉末混入の異なる二層からなる合成ゴム層コーティング加工したもので、繊維傷および色ムラなどの欠点がなく、J I S K 6 3 2 8の規格を満足するものでなければならない。

(4) 品質

本品は形状が均整で、次の各項に適用するものでなければならない。

- ア 底、ヒール、胴、甲その他貼り合わせ部分または貼り付け部分の密着が良好で、ゴム離れ、ゴム浮きなどの欠点がないこと。
- イ 吊り込みが完全であること。
- ウ ゴムの表面に、硫黄が析出していないこと。
- エ 使用上有害な傷、亀裂、巣、気泡、異物混入その他これに類する欠点がないこと。
- オ 目立って外観を損ずるような斑点、汚れ、模様の不鮮明その他の欠点がないこと。
- カ 縫製部分は、縫い曲がり、縫い飛び、縫い外れがないこと。
- キ 付属品の付け方が堅固であること。

(5) 構造

- ア 未加硫のゴム長靴は、全体に特殊銀色塗料による特殊塗装装置を用いて全面塗装し、加硫すること。
- イ 長靴の各部は、各寸法の抜き型を用いて裁断し、一枚一枚肉眼で検査をし、外観上欠点のない材料を使用すること。
- ウ 長靴の成型は、仕様寸法に基づき、各部分を貼り合わせること。
- エ 本底は、プレス加工により、耐久性及び摩擦力にすぐれたものとし、底意匠は、滑り防止のためのラジアル（吸盤付）型とすること。
- オ 本底踏まず部に浮出しプレスにより、足長及び製造業者名（又は略号）を表示す

ること。

カ 爪先の甲表の上部にローレット加工を施した、補強用先ゴムを貼り付けること。

キ 別図に示す位置に、フロントマークを容易に剥離しないよう貼り付けること。

ク 靴底は、別図に示す構造とすること。なお、踏み抜き防止のための鋼板またはステンレス板を、巾底と中底の間に接着加工し、J I S 8 1 0 1の規格を満足すること。

ケ 膝カバーは正しく裁断したシートを腓腹部側で縫い合わせ、内側から幅25m/mの防水用ジョイントテープを貼ること。

コ 筒状にした膝カバーを裏返して、縫い合わせ部と長靴本体の踵中心上部を合せ、履口部より20m/m下げて履口ゴムテープにそって縫製し、履口ゴムテープの上部までラテックス系接着剤で接着し、巾25m/mの防水用内巻ゴムテープを貼付けること。

サ 膝カバー筒口（履口部分）に股締めバンド用の平ゴムを力布で覆い押さえ収めること。

シ 小判型アイレットを外足上部月型部分に付け、吊りバンドを通すこと。

ス 吊りバンドは、自由に長さを調整し、固定できるものであること。

(6) 形状及び寸法

ア 厚さ 外底、胴、甲各部の厚さは表－1に適合しなければならない。

表－1

(単位mm)

外 底			胴
不 踏 部	踏付主要部 (山を含む)	踵 部	
2. 0 以上	7. 0 以上	2 5. 0 以上	1. 0 以上

イ 高さ 本品の高さは（表－2）に適合しなければならない。
許容差は±10m/m（総丈：15m/m）とする。
但し左右を1足とする場合の左右差は5mm以内とする。

ウ 性能 本品は8に規定する試験方法により試験し（表－3）に適合しなければならない。

表－2

(単位 m/m)

外底の試験	引張試験	引張強さ (kgf/c m ²)	9 0 以上
		伸び (%)	3 5 0 "
	老化試験	引張強さの残留分 (%)	8 0 "
中敷の試験	耐踏抜性試験	踏抜強度 (kgf/c m ²)	1 1 2 "

胴及び甲ゴムの試験	引張試験	引張強さ (kgf/c m ²)	1 3 0 "	
		伸び (%)	4 2 0 "	
	老化試験	引張強さの残留分 (%)	8 0 "	
中底の試験	わん曲試験		折損しないこと	
裏地の試験	破裂試験	破裂強さ (kgf/c m ²)	4 "	
トッピングシート	引張試験	引張強さ (kgf/c m ²)	縦	8 "
			横	8 "
		伸び (%)	縦	5 "
			横	5 "

(7) 測定及び試験方法

J I S規格S 5 0 0 5 (長靴)、T 8 1 0 1 (安全靴)、K 6 3 2 8 (ゴム引布) に規定する試験方法を適用するものとする。

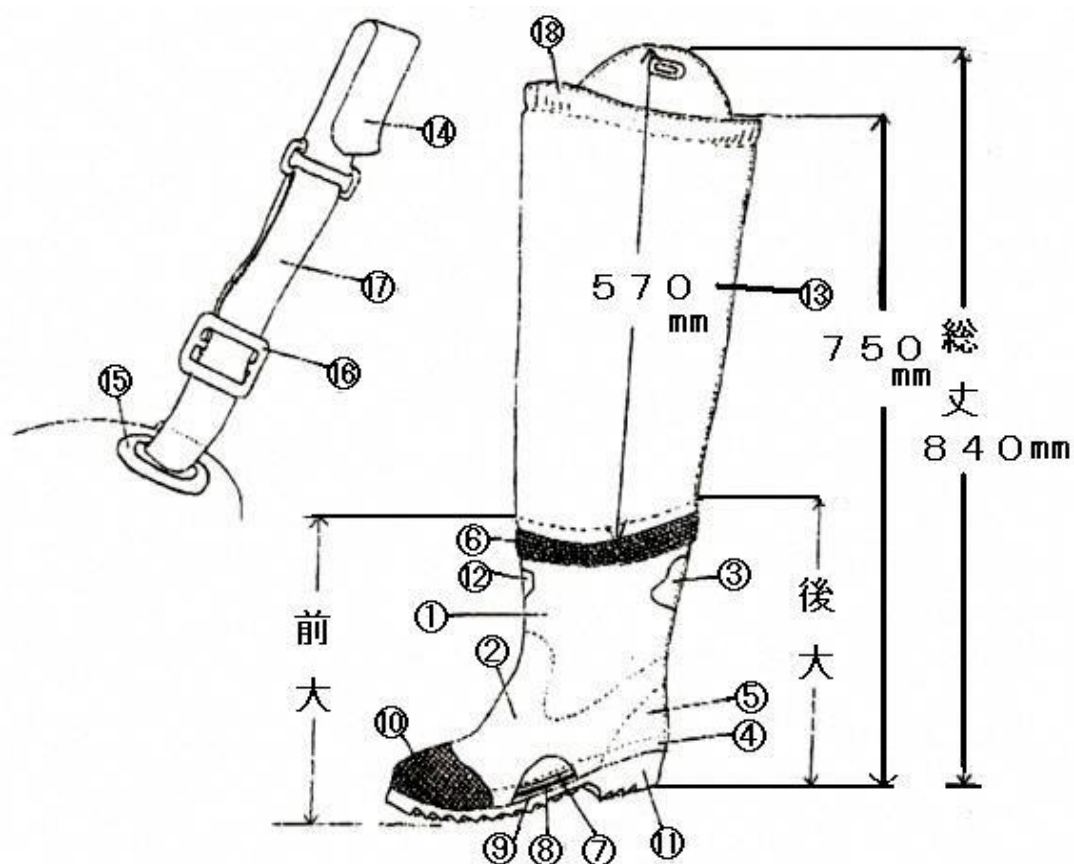
(8) 表示

本製品はつぎの事項を標示しなければならない。

ア 呼び寸法

イ 製造業者 (または略号)

ウ 原産地



番号	部品名	番号	部品名
①	胴ゴム	⑩	爪先ゴム
②	甲ゴム	⑪	外底ゴム
③	裏布	⑫	フロントマーク
④	内補強テープゴム	⑬	膝カバー布
⑤	後胛ゴム	⑭	かけ環
⑥	履口テープゴム	⑮	金属アイレット
⑦	上貼中底ゴム	⑯	バックル
⑧	踏抜防止版	⑰	吊りバンド
⑨	下貼中底ゴム	⑱	股締めバンド

4 石油交付金表示

- (1) 全部の納入品に名前等が記入できる表示を張り付け、「令和5年度石油貯蔵施設立地対策等交付金施設」と物品ごとに一連番号「1 / 25（総数）… 25（総数） / 25（総数）」と表示すること。

第3 同等品条件

上記で示した物品と同等あるいは、それ以上の機能（性能）を有するものとし、同等品を提案する場合は、見積書の提出までに商品カタログ等で十分に説明のうえ、承認を得ること。

第4 文字記入

防火ヘルメット左右に「おいらせ町消防団」と表示すること。

第5 検査

本仕様書により納入検査を行う。

第6 納期

契約締結日から令和6年2月29日まで

第7 納入先

おいらせ町役場本庁舎（青森県上北郡おいらせ町中下田 135-2 地内）

第8 納品の保証

検収後であっても、生地、縫製等による不良品は業者がすべて無償で修理又は交換すること。